

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

四日市市長 森 智広

市町村名 (市町村コード)	四日市市 (242021)
地域名 (地域内農業集落名)	富田・羽津地区
協議の結果を取りまとめた年月日	富田地区 令和6年10月28日 羽津地区 令和6年11月7日

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・地区内の高齢化が進むとともに、後継者が不足しており、施設（用水路、水門等）の維持管理、出作業等が負担になってきている。
- ・排水が悪く作付けができない土地や、区画が小さく耕作に適さない土地がある。
- ・地区外からの耕作者が請け負っている農地については、耕作者の高齢化等により耕作規模が縮小していく状況にある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・水稻を主要作物とする。
- ・担い手への集約化が進んでいるが、地域全体で農地を管理していく仕組みを維持していくため話し合いを継続して実施する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	77 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	77 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地で農業上の利用が行われている区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

<p>(1) 農用地の集積、集約化の方針</p> <p>地区内の農地利用は、認定農業者のA、B氏が担っていく。また、離農する農家から、農業を担う者のAに継承されるように、地域内の合意形成を図っていく。</p>
<p>(2) 農地中間管理機構の活用方針</p> <p>地区内で農地の貸借が発生する際は、農地中間管理機構を活用し集積を行っていく。</p>
<p>(3) 基盤整備事業への取組方針</p> <p>生産効率の向上や農地集積、集約化を図るため、畦畔除去等により区画を拡大整理していく。また、水路整備工事・排水対策工事等の実施により、耕作条件の改善に取り組んでいく。</p>
<p>(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針</p> <p>継続的に担い手が耕作できるように地域と担い手が協力連携していく。</p>
<p>(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針</p> <p>現在のところ未定。</p>

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ②みえの安心食材表示制度等に基づいて、化学合成農薬や化学肥料の使用を減らし、安全・安心な米の栽培に取り組んでいく。
- ③効率的な営農活動が重要であることから、補助金等を活用してスマート農業を実践していく。
- ⑦多面的機能支払交付金事業を継続して、適正な農用地の維持管理を行う。
- ⑧素掘り水路をU字溝へ改修し、農作業にかかる負荷の低減を図るとともに、農地の集積・集約化を図る。